



戦争とくらし

～「青柳村役場兵事関係資料」を中心に～

今年は戦後80年を迎える節目の年になります。薄れつつある戦争の記憶を継承し、平和について考え続けることが大切です。



▲在郷軍人名簿

▲青柳村役場兵事事績綴



▲軍服（陸軍）



▲甲弾箱

2025年7月19日[土]～9月7日[日]

リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー

開館時間：10:00～18:00

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

観覧料：無料



関連イベント

01 自然史・歴史講座（講演会）

戦争を記憶する

～福岡県の戦争遺跡 その保存と活用～

福岡県内に残る戦争遺跡について、戦争遺跡を研究されている九州歴史資料館の森井啓次さんにお話いただきます。

8月10日(日) 14:00～16:00 (開場 13:30)

[会場] リーパスプラザこが 多目的ホール

[講師] 森井 啓次さん(九州歴史資料館 企画主幹)

[定員] 100人



森井啓次さんのプロフィール

九州大学文学部卒業後、福岡県教育庁文化課に入庁。九州国立博物館、福岡県総合政策課世界遺産登録推進室等を経て、2024年から現職。

02 朗読

朗読



～戦時下、父子の往復書簡～

福岡県津屋崎を拠点に活動されている「つばめの記」をお招きし、戦地に赴いた息子と、故郷で待つ父親とで交わされた往復書簡の一部を朗読していただきます。

8月23日(土) 14:00～15:00 (開場 13:30)

[会場] リーパスプラザこが 図書館2階 中会議室

[定員] 60人

「つばめの記」について

福岡県津屋崎を拠点に、当家に残されていた戦時下の父子の往復書簡・戦争体験記・関連資料などをもとに、太平洋戦争の記録や家族史を辿っています。また、それらを遺族として展示や朗読で紹介する活動をしています。



WEBサイト

*どちらも 申込不要・入場無料・高齢者外出促進事業 です

